

鳥取のアートをもっと身近に! もっと楽しく!



アルテ

鳥取県文化振興財団 情報誌 vol.313

2020.WINTER

特集

日本舞踊家集団「弧の会」
《コノカイズム》鳥取公演

伝統に挑む、 圧倒的迫力の舞

ピックアップ 公演のみどころ

とりぎん文化会館 ホール探検ツアー

梨花ホールレクチャーコンサートシリーズvol.2

みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート

鳥取の未来のために

プロデュース公演《演劇》

U-18シアタープロジェクト Act2

FOCUS ON

ダンススタジオD.M.K





伝統に挑む、圧倒的迫力の舞

©仲間勇太

艶やかに美しく踊る日本舞踊の伝統に挑み続ける男たちがいる。流派を超えて結集した舞踊家集団「弧の会」が、来年2月に来鳥する。紋付袴姿で跳び、踊る圧倒的迫力の舞《コノカイズム》に酔いしれよ。

流派を超えて集結 若手が思いを貫く

「日本舞踊はしとやかな踊りで、気軽に行きにくいと思われがち。そんなイメージを変え、こんなにも楽しいんだよって伝えたかったです」。

そう話すのは弧の会代表で、300年続く市山流の七代目である市山松扇さん。7つの流派から12人（現在は13人）の男性舞踊家が集まり、1998年に「弧の会」を結成。伝統を重んじる世界で、当時30歳前後の若者たちは「異端」と思われたかもしれない。だが、若い自分たちだからこそ時代に合う感覚も分かると信じていた。

「どうやってたら同世代の若い人たちが盛り上がるかを考え続けました。伝統はもちろん大事。でも、私たちは思いを貫きたかった」。

あえてそろえず、 個の輝きを大事に

挑戦には苦勞が絶えない。それぞれ流派での仕事を終え

てから集まり、稽古は早くても夜11時から朝までというハードなものだった。さらに苦勞したのが踊りだ。流派の壁を超えて振り付けを作るには、意見がぶつかることが日常茶飯事だったという。

「みんな小さい頃から稽古を重ね、指先や手の角度まで自分の流派の踊りが体に染み付いていますから。最初は合わせようとしましたが、途中で個人個人が輝く形を見せるのが大事だと気付いたので」と市山さん。ゆえに「弧の会」の名前には、円の一部である「弧」を個々の「個」にも例え、それぞれの輝きが集まることでさらに大きな光を放ち、大きな円となろうという願いが込められている。

互いを認め合うことで起こった化学反応は、全員できっちりそろえたものとは別の魅力を生み出した。そして、自分たちの思いや主張（ism）「イズム」を表現する舞台公演を「コノカイズム」と題し、伝統美と創造性を融合させた踊りで日本舞踊の新しい魅力を発信し続けている。

常識にとらわれない 迫力の群舞

華やかで、まさに日本の美が詰め込まれている日本舞踊だが、弧の会の踊りは一線を画す。化粧やかつらを用いず衣装は紋付袴のみの「素踊り」。振り付けも常識にとらわれない。

【日本舞踊とは】

日本舞踊とは、舞楽や能楽、民俗芸能のエッセンスなどが、洗練された形で含まれる日本の伝統的な舞台芸術。100以上の流派があり、プロから愛好者まで多くの人に親しまれている。写真は長唄「藤娘」で、女形の基本が詰まった有名な演目。



「流派の踊りの継承が『守り』だとしたら、弧の会は『攻め』。『禁じ手』もずいぶんやってきました」。袖口をまくり上げ、大きな声を出し、飛んだり跳ねたり、時には舞台上で転がった。「批判も覚悟しましたが、終幕後のスタンディングオベーションを見て、今の人たちに受け入れられたんだなあとうれしかった。変化し続ける世の中のスピードに置いていかれないように創造することも大事だと実感しました」。

見どころは何といても、60数回の公演回数を誇る代表作「御柱祭」だ。長野県諏訪地方に伝わる7年に一度の祭は、選んだ御神木を伐採して最後は急坂から落とす「木落とし」が有名で、その迫力を体一つ



いち やま しゅう せん
市山 松扇
市山松翁に師事。2004年七世家元「市山松扇」を襲名。(社)日本舞踊協会主催「各流派合同新春舞踊大会」において、1987年、1988年奨励賞、1990年、1991年大会賞、1992年大会賞および会長賞受賞。2003年花柳壽応賞新人賞、2005年芸術選奨文部科学大臣賞新人賞受賞。(社)日本舞踊協会参与。「弧の会」代表。



笑いを交えたトーク&演目の解説があり、日本舞踊に馴染みのない方にも分かりやすい構成。

「守り」ではなく「攻め」の姿勢

で表現する。「現地の匂い、土臭さ、熱さ。全てを詰め込んでいます」と言うように、スピード感溢れる曲に乗り、熱気と躍動感を12人の群舞で魅せる。

キャッチボールを 楽しむ舞台に



©田中文太郎

「踊りは目で見て、耳で聞いて、心で感じて欲しい。舞台はお客様とキャッチボールでつくるもので、おかしければ笑い、感動すれば拍手してもらえようれしいです。ぜひ一緒に楽しみましょう」と市山さん。

威勢の良い声をあげ、舞台を動き回る弧の会の踊り手たち。そのテンポの速さ、躍動感、迫力に、画面越しでも度肝を抜かれ、体の中の血が騒ぐような感覚になる。挑戦を続ける彼らのパフォーマンスは、もはや古典というイメージはなく、まさに日本最高峰のエンターテインメントだ。ぜひ今回の公演で、その熱を感じてほしい。

御柱祭

長野県諏訪に古くから伝わり、男たちが命がけで挑む奇祭をイメージして作った弧の会の代表作。坂を滑り落ちるご神木に乗った氏子たちが、次々に振り落とされる様子を描く「木落とし」が最大の見所で、地域に連綿と受け継がれる伝統と男たちの熱気を見事に作品として表現した。2008年度文化庁芸術祭賞優秀賞など受賞。

公演情報は裏表紙をチェック!

ピアノ3種特有の響きに酔う

Information

開催日 | 2021年2月23日(火・祝)
 会場 | とりぎん文化会館 梨花ホール
 時間 | 開場 13:15 開演 14:00
 料金 | 全席自由(税込)
 一般 2,000円
 U18 無料(要整理券)
 ※4歳以上入場可
 ※中学生以下保護者同伴
 一般発売 | 1月10日(日) 10:00~
 主催 | (公財)鳥取県文化振興財団
 お問い合わせ | とりぎん文化会館
 TEL.0857-21-8707

とりぎん文化会館が所有する3種のグランドピアノ「スタインウェイ D274」「ベーゼンドルファー モデル290インペリアル」「ヤマハ CFIII-S」を使用して、それぞれのピアノの特徴や歴史、作曲家との関わりなど解説を交えながら、特有の音色と響きを楽しむ人気のレクチャーコンサート。ショパン、ベートーヴェン、リストとピアノの名曲が揃った、充実のプログラムでお届けします。

ナビゲーターは、昨年に引き続き、横山幸雄さん。1990年「ショパン国際ピアノコンクール」で歴代の日本人最年少で入賞し、文化庁芸術選奨文化大臣新人賞など数多く賞を受賞。2010年には、世界で100名の芸術家に贈られる「ショパン・パスポート」が授与されました。この人気実力ともに音楽界をリードするトップ・アーティストが、個性と魅力に溢れる3種のピアノの世界に誘います。

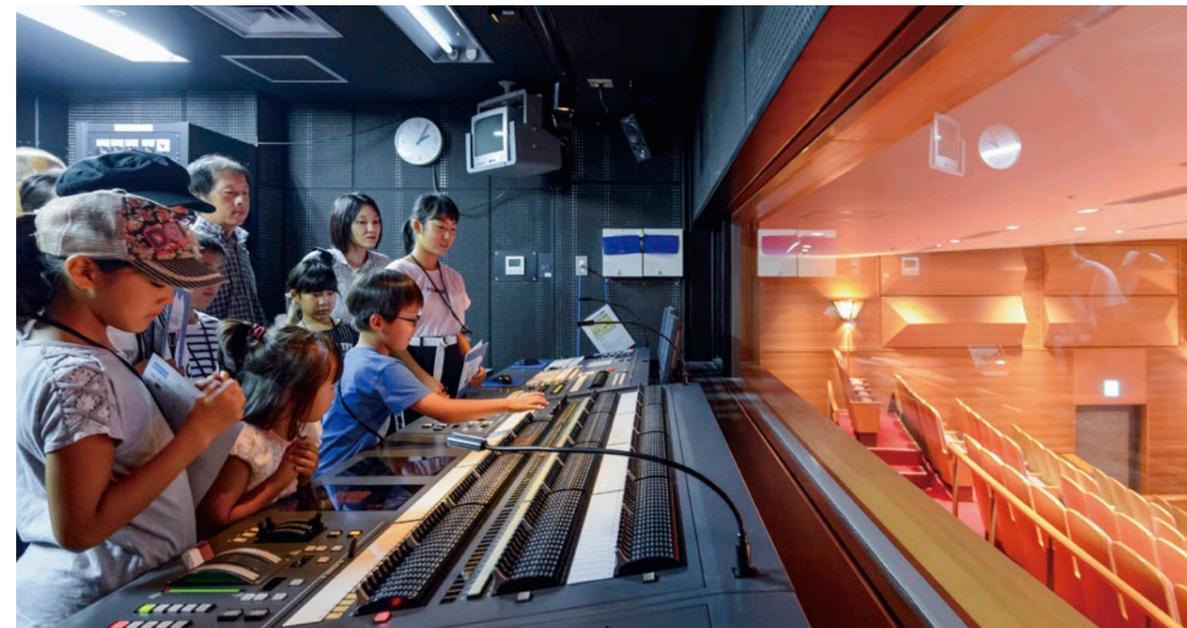
～ 地域の賑わい創出事業 ～

梨花ホールレクチャーコンサートシリーズvol.2 みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート



©アールアンフィニ

裏方のお仕事、体験しよう！



地域の賑わい創出事業

とりぎん文化会館 ホール探検ツアー

クラシックコンサートをはじめ、バレエ、歌舞伎、ポップスライブなど多彩な舞台演出を実現するとりぎん文化会館梨花ホールの舞台機構を見学・体験できる人気企画「ホール探検ツアー」。

ツアープログラムでは、ホール天井裏、照明や音響の操作室などの普段は立ち入ることのできない劇場の裏側を、クエスチョンハンター*と一緒に舞台のしくみをひも解きながら巡ります。ハンターや参加者が発見した舞台機構の不思議について、舞台技術スタッフが解説します。

今年はさらに、体験プログラムが充実。舞台・音響・照明のそれぞれの舞台技術を用いたしなげを体験する「なりきり!舞台技術スタッフ」では、実際に舞台技術スタッフが使用する機材を操作して、舞台芸術を下支えする裏方の仕事を見学・体験できます。新たに「なりきり!撮影コーナー」も設置します。知ればますますおもしろくなる、舞台芸術の裏の世界へぜひおいでください。

*クエスチョンハンター=ナビゲーター

Information

開催日 | 2021年2月7日(日)
 会場 | とりぎん文化会館 梨花ホール
 時間 | 受付 13:30 時間 14:00~16:00
 参加料 | 無料(要申込)
 対象 | 小学生(保護者同伴)
 定員 | 40名 ※定員に達し次第締め切ります。
 申込受付 | 1月9日(土) 10:00~
 主催 | (公財)鳥取県文化振興財団
 お問い合わせ | とりぎん文化会館
 TEL.0857-21-8707



自分自身の“今”を見つめながら、 真っ正面から挑んでほしい

おかだ たつや
岡田 達也 さん

鳥取市出身。1992年、演劇集団キャラメルボックス入団。以降、数多くの主演をこなすなど活躍。客演も多数。近年の主な出演作品は『嫌われ松子の一生』『アンフェアな月』『刀剣乱舞 維伝 臆の志士たち』など。

類を見ない壮大な企画にビックリ

大学卒業後上京し、30年にわたり俳優をやっている僕ですが、鳥取が大好きなので故郷のために力になりたいと思い、「U-18シアタープロジェクト」に参加しています。前は作品の一つ『ant(アント)』に客演、このAct2ではプランニング・アドバイザーを務めています。

戯曲を書くのも舞台上で演じるのも「18歳以下の若者」なんて、すごく面白い企画ですよ。また、監修・演出の宮田慶子さんをはじめ、周りで彼らを支えるのはすべてプロの演劇人というのもすごい。大きなホールのステージで、本格的な舞台美術を設え、あえてお客さまからチケット代を頂いて上演することで若者を育成するとともに、演劇の魅力を発信していこうというコンセプト。学校のクラブ活動とは一線を画しており、全国でも珍しい取り組みではないでしょうか。

前回、キャストに決まった高校生の皆さんが、舞台稽古を重ねるごとに進化していったのを覚えています。最初はどこか自分を守っているような演技でした。でも舞台では、本気で笑って、本気で泣いて、どれだけ自分自身をさらけ出すことができるかが大事。身を削らなければ人の心を動かすことはできないんです。「努力次第でまだまだ伸びるはず」と、彼らの潜在能力を感じたことが印象に残っています。



いじめをテーマにした前回作品『ant』の一場面。不安定な心が複雑に交錯する難い芝居に、若者たちは真摯に立ち向かった。(2019年3月/米子市公会堂)

才能の原石!? 荒削りながら個性光る

さて第2弾となる今回は、初めて戯曲創作講座に同席し、戯曲づくりにチャレンジする3人の高校生に会いました。それぞれ書きたいテーマやあらすじが粗方決まってきた段階です。実体験を基にした物語あり、ぶっ飛んだ空想ありで、3作品とも可能性を感じました。「今の若者はこんなことを考えているんだ、こういうことを表現したいんだ」とわかり、大変興味深かったです。ただ、登場人物のキャラクターを演技で表現するのは難しいと感じる部分も。映像ではなく、「舞台上で役者が演じる」ことを意識しながら、今後詰めていく必要がありますね。

演技ってとても自由なものだから、文章にするとベタな表現でも、演じると驚くほど価値が出る場合があります。だから、表現の仕方はある程度役者に任せるという方法でもOK。完成までの道のりは長いですが、講座で様々なことを学びながら、最後までくじけずに取り組んでほしいです。

脚本に込められた想いを舞台で!

脚本完成後の「ワークショップ・オーディション」は、宮田さんの指導で表現力や個性を見極め、出演者を決めます。ぜひ多くの若者に挑戦していただきたいです。宮田さんは、時々厳しいことも言われますが、演者の力をしっかり引き出してくれる日本を代表する演出家。「信じて食らいついていくぞ」という気概を持って臨んでほしい。そして、脚本を書いた人の想いを受け取って、みんなで力を合わせていい舞台を創り上げたいですね。



高校生が考えてきた物語やキャラクターを実際に演じたらどんなふうになるか、長年の舞台経験からアドバイスをする岡田さん。

創る

ともに創る、つながることでアートが生まれる



プロデュース公演《演劇》

鳥取県内の18歳以下の若者が戯曲を書き上げ、同じく18歳以下のキャストが演じるという、U-18がメインとなる演劇公演の第2弾。2019年3月の舞台公演に引き続き、監修・演出に宮田慶子さん、戯曲監修に大和屋かほるさんをお迎えし、2022年8月の上演を目指しています。約1年かけて行われる「戯曲創作講座」が、今年6月から始まりました。意欲あふれる3名の高校生が、映画やTVドラマではなく演劇とはどう

いうものか、戯曲を書くのに必要な基礎・テクニク等をコツコツと学びながら、オリジナルの戯曲づくりに励んでいる真つ最中。表現したいテーマが決まり、登場人物やその背景、あらすじ、プロットができ始めているところ。三人三様に独創的な発想で、面白い作品になりそうな期待が高まっています。戯曲完成後は、「リーディング公演」を開催して上演作品を決定。そして、約4カ月かけて舞台用の脚本に仕上げま

す。脚本が完成したら、次は出演者の出番。来年12月に実施する「ワークショップ・オーディション」で出演者を選び、本番まで稽古を積むという、2年以上にわたる長丁場のスケジュールとなっています。越えなくてはならないハードルはまだ幾つもありますが、若者たちが胸に秘めている疑問や不安、違和感、情熱を表現できたらきっと、観客の心を揺さぶる舞台となることでしょう。

若者の創造力が開花する舞台、再び!



「プロデュース公演」って?
当財団では、特色ある地域文化を基に、音楽・舞踊・演劇などの舞台公演を制作しています。地域の文化活動者・団体等と財団が協働し、プロフェッショナルのサポートを受けながら、オリジナルの舞台作品を創り上げます。



演劇や戯曲の基本を学びつつ、自分の書きたいテーマを掘り下げていく受講生たち。(戯曲創作講座)



前は2作品が上演され、好評を博した。写真は『動かない電車に乗って』の一場面。(2019年3月/米子市公会堂)

かげの立役者たち ～劇場裏のウラ～

財団技術管理部のスタッフが劇場の裏側をご紹介！
舞台や施設を見えないところで支えている、特殊な
構造や設備機器などをお見せします！

『操作卓』篇

倉吉未来中心は2021年4月で開館20年を迎え、2021年1月から客席天井の耐震化工事、舞台機構・舞台照明設備改修、音響反射板塗装・トイレの洋式化などの工事が行われます。

今回は舞台機構設備改修で変わる「操作卓(そうさたく)」についてご紹介します。

劇場の舞台には緞帳(どんちょう)や美術バトンと呼ばれる背景幕等の道具を吊る鉄のパイプを昇降させる吊物機構設備と、迫り(せり)と呼ばれる舞台の床の一部を昇降させる床機構設備があり、両者を合わせて舞台機構設備と呼びます。

舞台機構設備はホール独自のものが多く、また制御についても手動・電動形式など様々あり、電動のものには操作卓で操作を行います。これにより、舞台上の照明が消えたかと思うと次に明るくなった時には光景がまるで別の世界に変わっているといった舞台転換(場面の変化)を可能にしています。

今回の改修によって、大ホールの操作卓は、コ



新しい操作卓



新操作卓のジョイスティック

さまざまに 舞台転換を可能に

ンパクトなものへと変わります。

旧操作卓は、沢山のボタンやスイッチを押して操作していましたが、新操作卓は、レバーを押したり引いたりすることにより操作する「ジョイスティック」に変更されることで、昇降速度もジョイスティックの角度で調整するなど、人間工学に基づいた設計となり、より細やかな調整が可能になります。

また、旧操作卓は、単純に美術バトン等を上下させることしかできず、オペレーターがタイミングを把握して操作をしていましたが、新操作卓は、ステージの各場面をコンピュータに記憶させることが可能で、複雑な転換でも望み通りに動かせるようになります。

倉吉未来中心の大ホールは、これまで以上に様々な演出に対応できる劇場に生まれ変わります。



現在の操作卓

FOCUS ON

県内の文化芸術活動団体・人を紹介します

ダンススタジオD.M.K

音楽に合わせて腕を伸ばし、床を蹴って思い切りジャンプ。
弾ける体と一緒に、心がスーッと解放されていく。倉吉市のダンススタジオでは、一人ひとりの表現を尊重し、ダンスを楽しむことを通じて「自分を大切にできる心」を育てている。



お話を伺った人



代表インストラクター
松本 亜矢さん

左/レッスンで、最初は「難しい」と言っていた子どもたちも徐々にステップに慣れていく。「そう! すごいよ!」と亜矢さんにほめられて、子どもたちも「できたー」とうれしそう。 右/ダンススタジオD.M.K10周年記念ダンス公演「キモチクタクシクオドロウヤ」(2018年/ハワイアロハホール)

弾けるダンスで心を自由に

平成19年に地元・倉吉でダンススクールを開設し、平成25年にスタジオを構えてヒップホップを中心に多様なジャンルのクラスを用意。平日の午後を中心に約100人が通っています。
年齢や性別、国籍もさまざまな生徒さんが、それぞれのペースでダンスを自由に楽しんでいきます。10人いれば10通りの表現があつていい。未知の可能性を持つ答えのない芸術だからこそ、誰でもできるし、誰でも楽しめる。それがダンスの魅力の一つだと感じています。スクールでは毎年、地元の夏祭りなどでステージ発表もしています。

最初は思ったように踊れませんでした。教えてもらったステップの踏み方をノートに書いて、後でそれを見ながら練習することで、少しずつ踊れるようになってきました。ヒップホップの音楽に合わせて体を動かすのは本当に楽しいです。亜矢先生は、自分ではできていないかなと思う時でも「できている」と言ってくれるので自信がつかます。練習をがんばって、キレッキレなダンスが踊れるようになります。

川上 咲さん

倉吉市内小学校 3年
ヒップホップ入門クラス 3年目



このほか(公財)鳥取県文化振興財団主催の「とつとりの芸術宅配便」登録アーティストとして県内の小中学校を訪れたり、「あいサポート・アーティスト」とりフェスタ」でダンスチームをプロデュースしたりと、スタジオ以外でもダンスの指導をしています。
アドバイスしながらも一人ひとりの考えを認め、「できないこと」ではなく「できたこと」を見つけてほめてあげる。そんな小さな達成感を積み重ねていけば、「私はこれでいいんだ」という自己肯定につながる。スクールが「心の解放」ができる場所でありたいと願っています。

(公財)鳥取県文化振興財団 友の会リニューアルのお知らせ

皆様により文化芸術に親しみを持っていただけるよう、2021年4月に友の会をリニューアルいたします。文化芸術をより身近に感じていただける特典をご用意しておりますので、皆様のご入会を心よりお待ちしております。

現在

プレミアム会員 年会費2,000円/有効期限1年

リニューアル後

2021年4月1日(木)から、運用開始!

ロイヤル会員

年会費 **10,000円**
有効期限 **1年**

特典内容

- 最速!先行予約・販売
- 財団が指定する財団主催公演への無料招待(年1回)
- チケット購入後のキャンセル(年2回)
- アーティストとの交流
- レストラン等協力店での割引
- メールマガジンの配信
- 催し物案内の送付(毎月)

クローバー会員

年会費 **1,500円(1,000円*)**
有効期限 **1年**

特典内容

- 先行予約・販売
- レストラン等協力店での割引
- メールマガジンの配信
- 催し物案内の送付(毎月)

*催し物案内の送付が不要な方は、年会費1,000円でご入会いただけます。催し物情報はメールマガジンで毎月配信します。

ジュニア会員

(対象:小学校1~6年生)

年会費 **無料**
有効期限 **小学校卒業月末まで**

特典内容

- ダイレクトメールの送付(年4回)
- ジュニアパスポートの発行
- スタンプラリー特典

公演の鑑賞やワークショップへの参加などでプレゼントや招待券をゲットしよう!

※各内容については、変更となる場合がございます。

お問い合わせ 友の会事務局(とりぎん文化会館内) ☎ 0857-21-8707

この秋、とりぎん文化会館のレストランがカフェとしてリニューアルオープンしました!



Art Place SUNABA COFFEE

賑わいの創造カフェ ~「人」・「学び」・「彩」の交差テラス~

人との交流・つながりの場、多様な文化・芸術との出会いの場、学びの場となる「Art Place」。カフェとしての機能だけでなく、親子で過ごせるキッズコーナー、学習や仕事にも便利なカウンター席、県立図書館司書セレクトのおすすめの本が楽しめる書籍コーナーに加え、テイクアウトやお土産コーナーを新設しました。



キッズコーナー

カウンター席

書籍コーナー

幅広い世代の人々が憩い集まり、彩のある賑わいを創造する、新たなスペースで「思い思いの時間」を過ごしてみたいいかがですか。

店舗概要

メニューはこちらをご覧ください。→



営業時間 | 8:30~20:00 (L.O19:30)
定休日 | 毎月第2・4・5月曜日(祝日の場合、翌平日)、年末年始
お問合せ | TEL.0857-50-1500 (Art Place SUNABA COFFEE)

編集後記

戯曲創作講座(6頁)では時には厳しい指摘が入ります。それでも思考を巡らせながら向き合っていく受講生たち。輝いて見えます。全力を出して作られた作品はどのようなものになるのか。今から楽しみです!(S)

本で屈指と聞く。しかし、どんなに素晴らしいホールであっても、その地域の演奏家が育ち、その舞台に立たなければならぬ。今、改めて鳥取県出身の優秀な若手音楽家の存在の大きさを感じた。同時に、文化は多種であり音楽に特化する訳ではないが、どんなときでも音楽は心の安らぎに近い場所であり、「生活の一部」である事も改めて強く自覚した。若手音

10月25日、県民文化会館梨花ホールのリニューアル演奏会に出かけた。鳥取県出身者プロの若手音楽家達によるプログラム、それに加え学生のヴァイオリン演奏、高校生の声楽、そしてエネルギー溢れる吹奏楽など、新しい時代の息吹が吹き込まれた梨花ホールに、更に豊かな響きを感じ、有意義なひとときを過ごした。



鳥取の力 ~未来のために~

楽家の更なる活躍を期待したい。今、鳥取県で必要なのは、文化を担う若者を支える方策であろう。コロナ禍で大変な時代であるが、行政だけに任せるのではなく、企業、学校、市民団体と連携し、地域の活性化に繋げることが必要だ。社会経済と文化の関係性は強く、「文化は経済を育て、経済は文化を育む」と言われている。大きな目標も必要だが、小さな実績の積み重ねこそが大きな成果を生む場合もある。小さなものでも未来のために皆で支える力を出し合い、文化がより身近になる事を期待したい。そうして奏でられる音色は、きっと社会を明るくしてくれるだろう。

PROFILE

小谷 治郎 さん
全国菓子工業組合連合会 副理事長

鳥取市出身。江戸時代から続く老舗の和菓子屋「亀甲や」(鳥取市)の5代目当主を務める傍ら、全国菓子工業組合連合会副理事長をはじめ、鳥取県経済同友会副代表幹事、鳥取県総合芸術文化祭実行委員会会長など、様々な場で精力的に活動している。

メンバーに聞きました!

始めたきっかけを教えてください



小学校の授業で高城の伝統文化にふれる学習がありました。その頃は、私の兄が子牛役で張り子の中に入って、舞台上上がっていました。私は、その子牛を追って、母と一緒に追いつきをしていましたのが始まりです。

活動している郷土芸能のどんなところが魅力だと思いますか?



地元で大切にされてきた、伝統と文化を私たちが絶やさないで伝えていくのが魅力だと思います。

この活動をして、学んだこと、身に付いたことはありますか?



小学校で地元に残る文化や伝統の事を調べて、学習をしています。高城には、牛追掛節が今でも唄い継がれて残っていることは、とても大切な事だとわかりました。大きくなって良かったと思えるような大人になりたいです。



高城牛追掛節は、大山の牛馬市の開催に伴い、牛売買がまとまった時や、牛を追って道行く時に歌われていました。高城牛追掛節保存会の活動は、和牛の最繁盛期だった昭和30年代初期に開始。それから60年以上の時を経てもなお、地元の人々に愛され継続しています。12年前から小学生の子牛役が起用され、幅広い年代で構成。現在は、各地の伝統文化を継承する芸能大会などに出演しています。

【代表者】代表 福井聡さん
【設立】昭和30年代初期
【メンバー数】22人
【話を聞いたメンバー】
山増小絵さん(12才) / 活動歴4年9か月



青少年
古典・郷土芸能
グループ紹介
vol.3

【高城牛追掛節保存会】
地域のみなさんに愛され継続

イベント
主催

日本舞踊家集団「弧の会」
《コノカイズム》鳥取公演



これぞ、日本舞踊の未来進行形!

日時 | 2月28日(日) 開演 14:00

会場 | 米子市公会堂 大ホール

チケット | 全席指定(税込)※未就学児入場不可
一般 3,000円
U22 1,500円、U15 500円

一般発売 | 好評発売中

演目 | 若獅子 わかじし、酒餅合戦 さかもちがっせん、御柱祭 おんぼしら



公演情報



お問合せ | アルテプラザ(財団西部事務所)
TEL.0859-38-5127

イベント
主催

とっとり発コロナ危機打破! アート活動支援事業
「MUSIC ENCOUNTER ~アーティストたちの協演~」
〈Part2・3〉わたしの町の小さな演奏会

大井駿をはじめとしたヨーロッパで活躍する
音楽家たちと地元高校生との協演!

日時 | ①3月5日(金) 開演 18:00

②3月6日(土) 開演 14:00

会場 | ①とりぎん文化会館 小ホール

②ハワイアロハホール

チケット | 全席自由(税込)※未就学児入場不可
一般 500円 U18 無料(要無料整理券)

一般発売 | 1月16日(土) 10:00~



公演情報



お問合せ | とりぎん文化会館 TEL.0857-21-8707

イベント
主催

次世代育成トライアート《演劇》
演出家・宮田慶子による
演劇ワークショップ

「U-18シアタープロジェクト Act2」監修・
演出の宮田慶子氏によるワークショップと
戯曲解釈講座。

日時 | 3月7日(日)

【ワークショップ】10:00~12:00

※12歳(中学生以上)~18歳以下

【講座】13:00~15:00

※中学生以上

会場 | 倉吉未来中心 セミナールーム3

参加費 | 各回500円



開催情報



お問合せ | とりぎん文化会館 TEL.0857-21-8707

イベント
特別共催

日本海新聞発刊45周年記念事業
うしだ ともはる
牛田智大 ピアノ・リサイタル

天才ピアニストが奏でる美しい音色を
お楽しみください。

日時 | 3月20日(土) 開演 14:00

会場 | とりぎん文化会館 梨花ホール

チケット | 全席指定(税込)※当日券500円増し
一般 4,000円 ※未就学児入場不可
学生(25歳以下) 2,000円

一般発売 | 1月13日(水) 10:00~



©Ariga Terasawa

公演情報



お問合せ | 日本海新聞 ビジネス支援課
TEL.0857-21-2885

お知らせ

「新型コロナウイルス感染症拡大
防止対策に係る機器の整備」について

(公財)鳥取県文化振興財団では主催事業等に係る感染防止
対策として、競輪の補助を受けて機器を整備しました。



整備機器: 表面温度計サーモグラフィ
ハンディカメラ4台(三脚付き)

※チケットはとりぎん文化会館、倉吉未来中心、アルテプラザ、WEBチケットとっとり(鳥取県文化振興財団インターネット・チケットサービス)等でご購入いただけます。
※車椅子席・介添席・託児をご希望の方は、各イベントのお問合せ先へご連絡ください。
※アンダーチケット(U22、U18等)で入場の際は、公演当日身分証明書等の提示が必要です。
※イベント内容に変更になる場合があります。

お知らせ

倉吉未来中心の大・小ホール
大規模改修工事について

倉吉未来中心では、施設の安全性確保及び利便性向上のため、
大ホール・小ホールの大規模改修工事を実施いたします。

大ホール: 令和3年1月~同年12月末まで
小ホール: 令和3年1月~同年7月末まで

※工事状況によっては、工事期間を変更する場合がございます。
※上記以外の施設(セミナールーム等)は通常どおりご利用いただけます。

皆様に大変ご不便をおかけいたしますが、
ご理解とご協力をお願い申し上げます。

掲載のイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期
になる場合がございます。最新情報はお問合せ先へご連絡ください。



最新情報は、鳥取県文化振興財団 公式Facebookページでチェック!



鳥取県文化振興財団 FB

とりぎん文化会館

(県民文化会館/財団事務局)

〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5

TEL.0857-21-8707 FAX.0857-21-8705

✉ bunka@torikenmin.jp



【休館日】

年末年始および毎月第2・4・5月曜日
(祝日の場合は、その翌平日)

http://www.torikenmin.jp/kenbun/



倉吉未来中心

〒682-0816 倉吉市駄経寺町212-5

TEL.0858-23-5391 FAX.0858-47-0255

✉ mirai@miraichushin.jp



【休館日】

年末年始および毎月第1・3・5月曜日
(祝日の場合は、その翌平日)

http://www.miraichushin.jp/



アルテプラザ

(財団西部事務所)

〒683-8510 米子市西福原2-1-10 米子天満屋4階

TEL.0859-38-5127 FAX.0859-38-5128

✉ seibu@torikenmin.jp

【休業日】

年末年始および毎月第1・3・5日曜日
(祝日の場合は、その翌平日)

http://www.torikenmin.jp/artepiazza/

